



25PST

The Global Tuna Alliance 五年戦略

2021

状況説明

国際マグロ同盟(Global Tuna Alliance : GTA)は、小売業者とカツオ・マグロ類サプライチェーン企業から成る独立した機関で、カツオ、マグロ類漁業の漁獲戦略の実現や、違法、無報告、無規制漁獲物の回避、トレーサビリティと環境の持続可能性の向上、カツオ、マグロ類の漁業における人権に関する取り組みの進展に尽力しています。

私たちのビジョン

"我々のビジョン:カツオ、マグロ類業界が最高水準の環境パフォーマンスと社会的責任を担うこと"

この五年戦略はGTAの成長において肝要であり、我々は**フレンズ・オブ・オーシャン・アクション(FOA)**に支持された機関として、**世界経済フォーラム(WEF)**のカツオ・マグロ類2020年トレーサビリティ宣言に示された目標の実現に向けて、この一年間尽力し、下の四つの宣言を効果的に実施するために加盟組織、および非加盟組織と協力して共に取り組んで参りました。

- カツオ・マグロ類のトレーサビリティ
- カツオ・マグロ類のサプライチェーンの社会的責任
- 環境的責任がある資源/漁業からのカツオ、マグロ類の調達
- 政府との提携

今こそ未来を、2020年以降を見据えるべき時であり、この五年戦略は我々のこれからの五年間の方向

性を示す、2026年を見据えた戦略計画です。明確な目標を持つ組織とは、パートナーや利害関係者の間でより高いレベルの信頼関係を築き、持続的に成長することが可能な組織です。さらに、強力な説明責任と士気満ち溢れたチームの中でさらに効果的に目標を成し遂げることが可能です。

従って、この戦略は目標を共有する加盟組織と利害関係者(付属文書1)を配置し、目標を達成するためにビジョンを明確にすることに焦点を当てています。そのため、我々は、下記の3つの主要な戦略的優先事項を掲げて尽力いたします。

1. 透明性とトレーサビリティ
2. 環境の持続可能性
3. 社会的責任

GTA加盟組織は国への直接的関与とサプライチェーンの改善(付属文書2)の二つの主な手段を用いて作業プログラムに従事しています。**国への直接的関与**は、書面や会合等の方法を通じて、国際法の批准と履行を各国に奨励することで成り立っています。**サプライチェーンの改善**の促進は、各国による国際法の批准と履行を妨げる恐れのある障害を削減させることで成り立ちます。例えば、船舶オペレーターが国際協定や手段を適切に使用するために、各国が要求する情報を確実に認識させる、などの国内の状況や慣行の改善です。サプライチェーンの改善の促進は、サプライチェーンのリスクの理解と評価をもたらします。

我々はこの戦略と方針が組織の成功を収めるための重要な要素であると考えています。



GTA 五年戦略

透明性 & トレーサビリティ



水産物トレーサビリティ世界基準 (GDST)

100%対象監視

電子監視(EM)

違法漁業防止寄港国措置協定 (PSMA)

漁獲物の積み替え規則

漁船および運送船の公開追跡

許可された船舶リストの公表を支持

船舶の固有識別番号/漁船の国際記録を支援

環境の持続可能性



調達政策

漁獲戦略

集魚装置(FADs)管理

丸ごと、またはひれ付きの状態で水揚げ(FNA)政策と推奨

有害な補助金の撤廃

生物の多様性

社会的責任



社会的責任のある水産物サプライチェーンの確保

ILO 漁業労働条約 (第188号)

ケープタウン協定

漁業監視員の安全

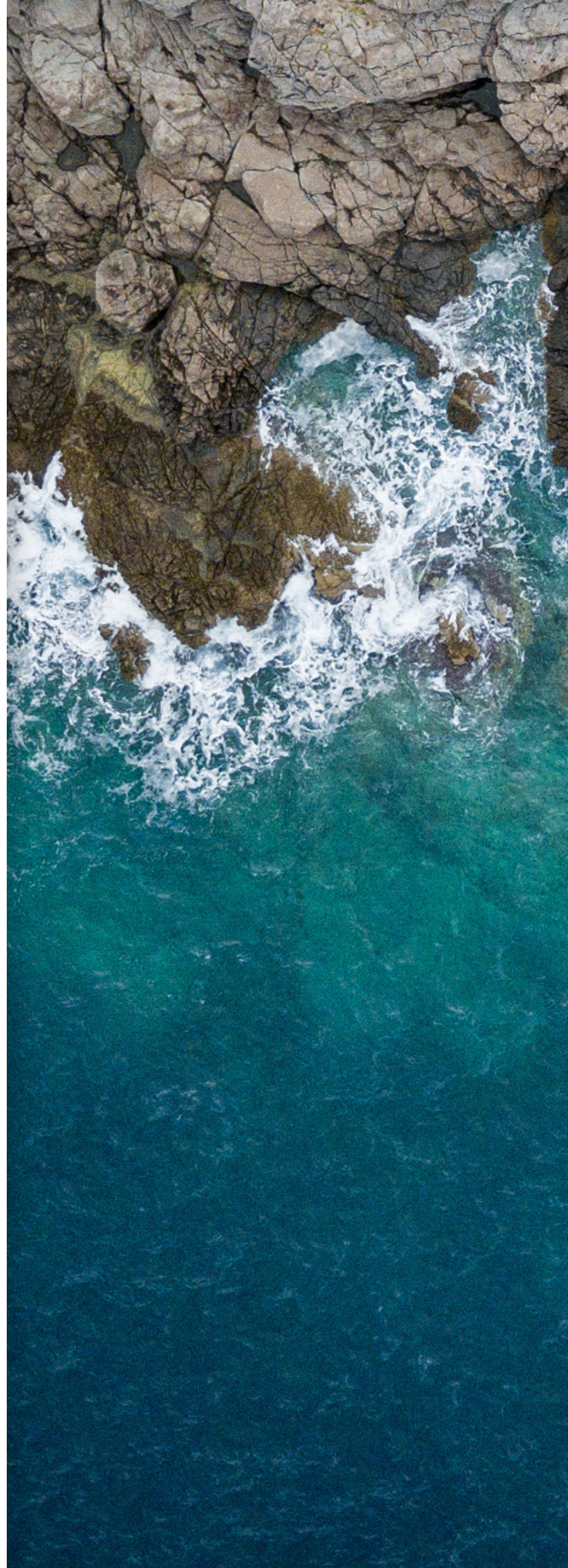
ワークエリア1： 透明性の向上

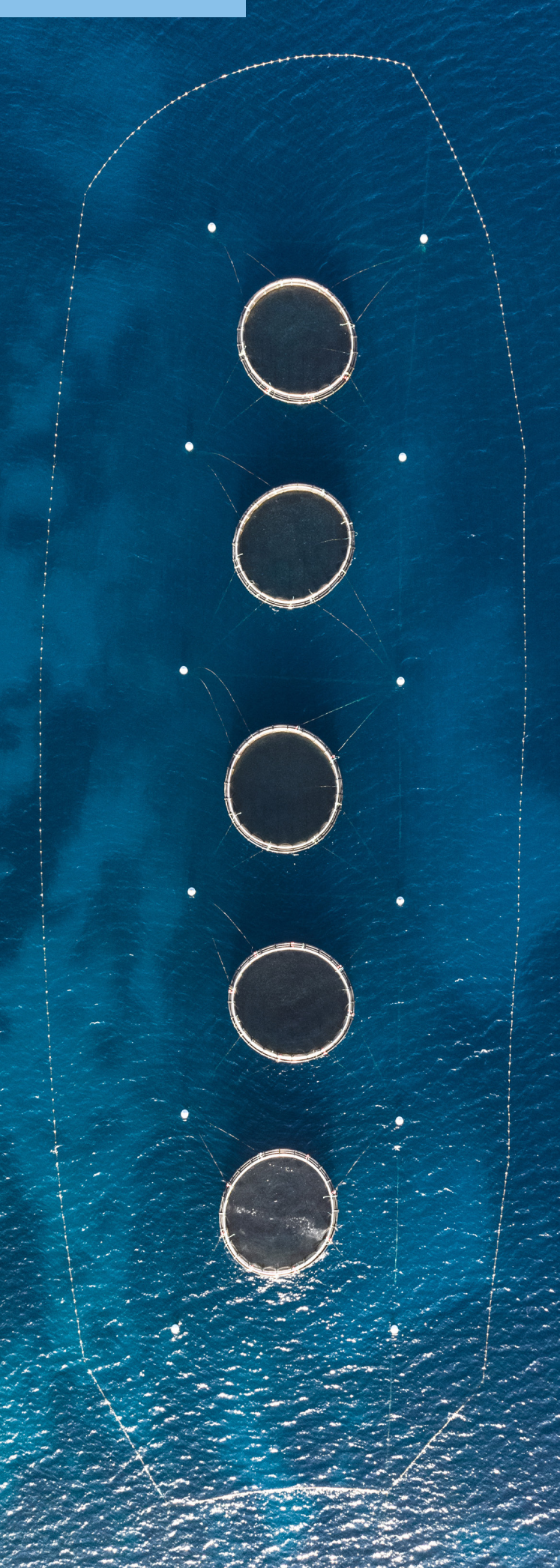
透明性の向上は持続可能な資源と倫理的なサプライチェーンを確保するための第一歩です。

業績の自主的な開示は国際的なサプライチェーンの変化を促進するための重要な要素です。統括区域間内では、透明性の向上に向けた変化によりサプライチェーン内の説明責任が向上し、企業に業績目標を達成するための追加の動機付けを提供し、投資家、消費者、またより広いコミュニティによる事業慣行の監督を促すことが可能です。

カツオ・マグロ類は世界中で最も取引されている商品の一つであり、また多くの人手を介しています。この長く複雑な過程により、商品情報を正確かつ一貫して記録し、サプライチェーンの各段階を通じて公然に共有することが困難になっています。カツオ・マグロ類を売買する企業にとって、商品の産地情報とサプライチェーンの透明性の欠如は重大な危険因子となります。

トレーサビリティとは、サプライチェーン内でのマグロ類商品の原産地と経路に関する情報を追跡および検証することができる仕組みを意味します。トレーサビリティは運用化、透明性、検証の構築を支える要素となり、また事業はトレーサビリティを利用しカツオ・マグロ類商品の情報を取得しサプライチェーン内での違法である非倫理的な活動を縮小することができます。





ワークエリア2： 環境の持続可能性

カツオ・マグロ類は大変人気の高い海産食品であり、世界中で食されています。需要の高まりに伴い、カツオ・マグロ類の資源や関連する生態系への脅威が懸念されています。現時点では、大半のカツオ・マグロ類の資源は健全な状態にあるといえますが、現状には大きなばらつきがあり、カツオ・マグロ類の個体数を生産性的、経済的、生態学的、に維持するための管理、監督が不十分な状況です。カツオ・マグロ類の個体数が増すためには、協調的な管理、効果的な規制などの執行、絶滅危惧種・保護種 (ETP種) の漁獲量の削減が必要不可欠です。

ワークエリア3： 社会的責任

水産物サプライチェーン内の人権侵害は、現代の奴隷制や人身売買を含む搾取的な労働慣行の報道もあり、より大きな課題となっています。労働者虐待は、採用から加工、流通までのサプライチェーン内でのどの段階でも起こり得ます。特に懸念されているのは、執行機関の手の届かない公海上での強制労働です。通信方法や有効な苦情処理、救済を求める安全な方法、さらには通常国内法域の法律によって提供される法律でさえも制限があるか、または皆無の可能性があるのであります。

さらに労働者は採用慣行において危険にさらされる可能性があります。例えば、労働者が雇用を得るために過剰な採用料を支払い、借金の束縛を受けることがあります。これは、労働者が債務が支払われるまで正式に、またはほかの貸し手への債務返済が必要な場合は非公式に雇用主に縛られる、借金による束縛労働、としても知られています。この借金による束縛労働と、強制労働、または賃金や労働条件などの誤情報に基づく労働は、現代の奴隷制の指標です。責任ある採用機関はこれらの漁業者のリスク管理を行います。

さらに、国際移民は、海上で物理的にだけでなく、言語や文化によっても孤立することがあり、社会的孤立と有効な苦情処理メカニズムの欠如は、労働者を虐待にさらす危険性を生じさせます。パスポートやビザなどの個人文書が取り上げられた場合、労働者は強制労働の状況に置かれ、不法滞在の状態になることを恐れて、声を上げたり虐待的な状況から離れたりすることができない場合もあります。



透明性とトレーサビリティ
 背景が影付きのマスは国際マグロ同盟 (GTA) が「主導」している、その他はGTAが「サポート」している取り組みを表しています。

事業計画	狙い	国連 持続可能な開発目標 (SDGs) との関連	機能	効果	GTA重要業績評価指数
水産物トレーサビリティ世界基準 (GDST)	効果的なトレーサビリティ (船舶から最終購入者までのマグロ類商品の追跡) を確保し、サプライチェーン内の透明性と責任説明を生み出すため、持続可能性の取り組みを支える。	透明性の向上は包括的テーマ	- 加盟組織はトレーサビリティに関する業界の最低基準として、GDST基準及びガイドライン(バージョン1.0) を承認する。 - 加盟組織はGDST導入のために、GDST調査手段を利用し、内部およびサプライチェーンの見直しを行い、準備状況を検証する。 - 加盟組織は、内部評価および外部評価に基づいて、GTST基準の完全な導入への自社に合わせた計画を立てる。 - 加盟組織は、最低限の主要データ項目の使用を含め、GDST基準を満たすか、それを超えることへの実施開始期限付き確約を持つ。	- GDST (または同等のシステム) を通じて開発された主要データ項目を使用した、マグロ類商品の効果的なトレーサビリティシステムにより、船舶または船舶のグループ、漁業日程、漁業方法、漁業範囲に商品の追跡、および最終顧客への開示が可能になる。 - 独自のトレーサビリティデータは一貫性があり、相互運用可能な資料を通じてサプライチェーン全体で共有が可能になる。	- GDST基準を支持している加盟組織の割合 - GDST基準の実施開始期限付きの確約を持つ加盟組織の割合 - 販売されるマグロ類商品 (数量) の少なくとも80%がGDST基準に達している加盟組織の割合
100%対象監視	2024年までに、海上積み替えに従事するすべての漁業を含む産業用マグロ類漁業において、漁業監視員の完全配備 (人間または電子) が必須となる。	SDGs 目標14 ターゲット4	- GTA加盟組織は、マグロ類の調達要件を見直し、野心的な行動計画を採用することに同意する。(例えば、供給するX%を、100%対象監視 (人間または電子) を有する船舶から調達する。そして202Y年までにZ時間枠にわたってX%から100%に増加する。) - GTAは、産業用マグロ類漁業における100%対象監視 (人間または電子) の実施を提唱する	世界中の多くのマグロ類漁業では、独立した監視が義務付けられていないため、違法漁業、誤報または未報告の漁獲、絶滅危惧種、保護種の混獲など、多くの既知の保全およびコンプライアンスの問題を含め、漁業資源、漁業、そしてマグロ類を購入する企業を危険にさらす、目に見えない問題がたくさんあり、100%対象監視 (人間および電子) は、マグロ類資源、海洋生態系、マグロ類サプライチェーンを危険にさらすコンプライアンスの問題を軽減することができる。	100%対象監視 (人間または電子) の実施開始期限付きの確約を持つ加盟組織の割合 - 産業用マグロ類漁業における100%対象監視 (人間または電子) 要件を持つマグロ類RFMOの数
電子監視 (EM)	EMが不足している所に、マグロ類地域漁業管理機関 (RFMO) はEMデータの最低基準、最優良のEMおよび電子報告の実施のための開始期限付きの作業計画を採用し、コンプライアンスを確保するために必要な構造を採用する。	SDGs 目標14 ターゲット4	- GTA加盟組織はPSMAの締約国である国、またはPSMA要件に沿った有効な寄港国措置を実装している国の港は、違法漁業の入り口になるリスクが低いため、これらの港を優先する。 - GTA加盟組織は、違法漁業防止寄港国措置の実施レベルと、違法、無報告、無規制漁業、の漁獲量が市場に参入するリスクを回避するために、商品が上陸している港に対して適切な調査を強化する。 - GTA加盟組織は以下の方法で供給者と協力して港湾国家措置の実施を促す。 - サプライチェーンの可視化 - 港がPSMAに署名した国が否か確認し、署名していない国の場合は、その国が参加するよう提唱する。 - 外国船籍の船舶による上陸及び積み替えのために、各国が公式に指定された港を有しているかを確認する。 - 港湾訪問中に違法漁業防止寄港国措置の実施に関する確認をとる。 - 水産物調達要件を違法漁業防止寄港国措置を含むように改訂する。 - GTAは各国に以下のことを推進する - PSMAの批准と実施。 - 指定された船と連絡先が、指定された港及び連絡先ポイントのPSMAアプリに登録されていることを確認する。 - 国旗を掲げ国際的に運行しているすべての船舶に関する情報が国際的な記録にアップロードされているか確認する。 - PSMAの実施において積極的な役割をはたす。 - 関連するPSMAがすべての地域漁業管理機関 (RFMO) で採用されていることを確認する。 - 旗国と港湾国との間の漁業活動に関する運用データを適時かつ迅速に交換する。	- PSMAは、違法、無報告、無規制漁業と戦うための費用対効果の高い方法であり、港湾によって生じる自然の障害を利用し、違法に捕獲された魚が市場に出回らないようにする。違法漁業防止寄港国措置を実施する国が増えるにつれて、違法、無報告、無規制漁業はいずれ低リスクで高報酬の事業ではなくなる。 - 水産物産業は、協定の採択と効果的な実施を支援することで、知らずに違法漁業に貢献していないという保証を提供できる。また適切な調査を実施することで、小売業者や水産物業界の買い手は、販売する魚が合法的に調達されていることを確認し、それはまた加工業者や卸売業者を含む水産業界の他の分野に良い影響をもたらす。	- 違法漁業防止寄港国措置を含む水産物調達要件を持つ加盟組織の割合 - GTA加盟組織のうち違法漁業防止寄港国措置へのコンプライアンスのために商品が上陸している港でリスク評価を受けており、高リスクと認定された港に対して適切な措置を講じている割合 - 契約組織数 (基準62)
漁獲物の積み替え規制	船舶間の漁獲物の海上積み替えは、世界のマグロ類漁業において大きくかつ重要な役割を果たしているが、規制上の管理や監視が足りていない状況。海上積み替えが適切に管理され、透明性が改善するまでに、中核となる最善の措置をとる必要がある。	SDGs	- GTAはマグロ類地域漁業管理機関 (RFMO) が2024年までに海上積み替えに従事するすべての船舶に100%対象監視 (人間および電子) を採用することを提唱する。 - マグロ類RFMOが既存の積み替え規制の改正を中核となる最善の措置を伴って採択することを提唱する'。	海上積み替えのリスクは、とりわけ、100%対象監視 (人間または電子的) および適切な通知、報告、データ共有により軽減される。	中核となる最善の措置に沿うように既存の漁獲積み替え規制の改正を採択しているマグロ類RFMOの数
漁船および運送船の公開追跡	公開データが、船舶の特定に使用され、また船舶が関連規制に準拠しているかどうかの分析も支える。衛星船位測定送信機 (VMS) または船舶自動識別装置 (AIS) データから得られた情報が、グローバル・フィッシング・ウォッチ (GFW) によって関連する漁業規制 (旗国または地域の漁業管理機関が記載する) へのコンプライアンスを細部にわたって分析するために利用される。	SDGs 目標14 ターゲット4	- GTA加盟組織は、購入元の船舶にAISの設置義務付けを要請する。 - GTA加盟組織は、船舶追跡データを公的に共有する船舶からのみ購入することを確約する。 - GTA加盟組織は購入する旗国の船舶にAISの設置義務付けを要請し、またVMSデータの公開を奨励する。	- 船舶内のコンプライアンスの向上 - 活動の透明性の向上は活動の自己修正を促す。 - 港湾検査官が入港を許可または拒否する前に船舶の活動をより良く把握することで、国連連合食糧農業機関 (FAO) 港湾国家措置協定などが担う重要な機能を支える。	船舶追跡データの公開など、水産物調達要件を持つ加盟組織の割合
許可された船舶リストの公開を支持	許可された船舶リストを使用し、船舶の関連当局への準拠レベルを知ることができる。準拠している船舶の特定ができ、その船舶は報酬として、魚の水揚げのための入港を迅速に行うことが可能になる。準拠していない船舶は、情報がないためにすぐに目立ち、魚の水揚げをする際に検査のための優先順位が付けられる。	SDGs 目標14 ターゲット4	- GTA加盟組織は、購入する旗国と沿岸国に船舶のライセンスと権限リストを、公開するよう要求する。 - GTA加盟組織は、購入した旗国と沿岸国に船舶のライセンスと権限リストを国連連合食糧農業機関 (FAO) の漁船国際記録と共有することを要求する。 - GTA加盟組織は、マグロ類サプライチェーン内のすべての船舶が、漁獲を行う地域漁業管理機関 (RFMO) の許可された船舶リストに掲載されていることを要求する。	オープンデータへの徹底的な取り組み。3つの透明性の要求が喚起されたことで、合理的な注意義務や努力を実施して、問題が浮上している場所を特定し、ターゲットを絞った監査を行うことができる。	船舶免許および権限リストの公開共有を含む水産物調達要件を持つ加盟組織の割合
船舶の固有識別番号 (UVI) / 漁船の国際記録を支援	国際海事機関 (IMO) 番号などのUVI が、海上の安全性を向上させ、違法行為を減少させる。IMO番号は、名前、旗、所有者の変更に関係なく、漁船の船体に生涯登録され続け、IDへの簡単な変更を防ぎ、漁業活動を時と場所関係なく追跡できるようにする。長さ12m以上の船舶が国内海域を出航する場合、また100総トン以上のすべての船舶に、運航場所にかかわらず、IMO番号の取得を義務付ける。すべての主要なマグロ類地域漁業管理機関 (RFMO) はIMO番号の使用を義務付けているが、実装は遅れている。IMO番号はHISマリタイム経由で無料で入手できる。	SDGs 目標14 ターゲット4			UVIを含む水産調達物規定を実施している加盟組織の割合

12 ICCAT - Rec. 16-15; IOTC - Res. 19/06; WCPFC - CMM 2009 06

環境の持続可能性 (背景が影付きのマスは国際マグロ同盟 (GTA) が「主導」している、その他はGTAが「サポート」している取り組みを表しています。)

事業計画	狙い	国連 持続可能な開発目標 (SDGs) との関連	機能	効果	GTA重要業績評価指数
調達政策	マグロ類商品が、科学的根拠に基づき、漁業活動の環境への影響が許容できる範囲であることを保証し、環境の持続可能性への模索、計画・管理を実施している漁業から供給される。	SDGs 目標14 ターゲット2,4	- 公共のマグロ類(またはより広い範囲の魚介類)資源への持続可能性の要件を確約する。 - 世界水産物持続可能性イニシアチブ (GSSI) からの認証を受けた漁業からマグロを調達することを確約する。 - 漁業活動がGSSI認定を得ていない場合は、完全評価や、供給源漁業のための信頼できる包括的な漁業改善プロジェクト (進捗状況を監視するためにFisheryProgress.org を使用する) など、持続可能性への道を歩んでいる漁業かどうかの確認をする。	- GSSI認定の認証漁業、または持続可能な漁業の方針をとっている漁業の市場参入の促進 - 改良された市場アクセスが漁業を向上させる。	GSSI認証を受けた漁業からマグロ類商品の100%を調達すること、または持続可能性への道を歩むことを公に確約している加盟組織の割合
漁獲戦略	マグロ類地域漁業管理機関 (RFMO) が、予防基準点および魚獲管理規則の策定と同時に実施される包括的で予防的な魚獲戦略に関する行動を更に普及させる。	SDGs 目標14 ターゲット2,4	- GTAは漁獲戦略開発に関する行動を加速させるためにマグロ類RFMOを推進する。 - GTAは関連するRFMO代表団(すなわち、加盟組織が本部を置く国、加盟組織が現在の、または希望している調達国、加盟組織のサプライチェーンにおけるマグロ類漁または供給/入札船に国旗が立てられている国)と関わる加盟組織を支援し、魚獲戦略の開発と実施を求める。 - GTA加盟組織は、企業のRFMO方針を策定する。例えば、「私たちは、政策立案者とサプライチェーンの両方を通じて、魚獲戦略などを用い、マグロ類漁業のRFMO管理を強化するコンプライアンスを支援するために、我々の影響力を行使することにコミットする。」(これには、調達の見直しの実施開始期限付き確約が含まれる。) - GTA加盟組織は、供給業者にRFMOの代理人と検証可能な形で関与するよう要求する。	漁獲戦略がマグロ類資源全体に実施される。	- 包括的な漁獲戦略が実施されているマグロ類資源 (GTAの範囲内) - 明確に定義された漁獲戦略ルールが実施されているマグロ類資源 (GTAの範囲内)
集魚装置 (FADs) 管理	マグロ類地域漁業管理機関 (RFMO) が、GTAが策定したより良いFADs管理に関する対策を採用する。	SDGs 目標14 ターゲット2	- GTA加盟組織は、より良いFADs管理のためにマグロ類の調達要件の見直しやGTAが策定した対策の要求を組み込むことに同意する。 - GTAは、より良いFADs管理を目指すためにGTAが策定した対策をマグロ類RFMOが採用することを提唱する。	海上FADs漁業が、より適切に管理され、透明性が増し、リスクも軽減する。	- 水産物調達要件 (より良いFADs管理を目指すためにGTAが策定した対策) を採用している加盟組織の割合 - より良いFADs管理を目指すためにGTAが策定した対策を採用しているマグロ類RFMOの数
丸ごと、またはひれ付きの状態での水揚げ (FNA) 政策と推奨	マグロ類地域業者管理機関 (RFMO) がサメへのFNA政策を適応させる	SDGs 目標14 ターゲット2,	- GTA加盟組織は、FNA政策に準拠した船舶からのみ購入することを確約する。 - GTAは、マグロ類RFMOがサメに対してFNA政策を採用することを提唱する。	- FNA政策はサメの資源と保全と管理の改善を進めるための基盤として、捕獲、廃棄、取引に関する種固有のデータの収集を改善させる。(ヒレが取り除かれている場合サメの種別の特定は困難) - FNA政策は違法なサメのひれの減少を促す効果的な方法として広く認識されている。	- FNA政策の実施開始期限付きの確約を持つ加盟組織の割合 - FNA政策を批准しているマグロ類RFMOの数
有害な補助金の撤廃	乱獲と搾取を助長する有害な補助金の撤廃	SDGs 目標14 ターゲット6	- GTAは、政府と世界貿易機関(WTO) がSDGs目標14ターゲット6を緊急に実施するよう求める呼びかけを支持する。 ”2020年までに、開発途上国及び後発開発途上国に対する適切で効果的な、特別および差別的な待遇がWTO漁業補助金交渉の不可欠な部分であるべきであることを認識しつつ、過剰生産能力及び乱獲に寄与する特定の形態の漁業補助金を禁止し、違法、無報告及び無規制漁業に寄与する補助金を撤廃し、新たな同様の補助金の導入を控える。”	政府の補助金は、海洋生物多様性のモニタリング、気候変動の緩和、乱獲によって悪い影響を受けている地域に雇用を提供する、適応プロジェクトのために役立てられるよう方針を変更	過剰生産と乱獲、および違法・無報告・無規制漁業に寄与する漁業補助金の撤廃
国家管轄権外区域における海洋生物多様性 (BBJN)	地理的、法的及び分類学的な隔たりを埋めることにより、既存の公海ガバナンスの枠組みを補完し、強化すること。特に空間管理と商業漁業の生態系への影響に焦点を当てる。	SDGs 目標14	- GTA加盟組織は、政策立案者に対し、公海交渉が、世界の公海生物多様性の監視と管理に対する責任を割り当てるという点で、公海(南西大西洋や東インド洋など)の空間ガバナンスや分類学上の隔たりを含む既存の管理システムの欠点を説明する強固な国際条約をもたらすことを確実にするよう要請する。 - GTA加盟組織は、BBNJ交渉の政策立案者に対し、公海における人間活動とその生物多様性の分布と影響に関する重要な知識を得るために、公海におけるすべての人間活動、特に自然界からの採取物を人間または電子の監視員および監視システムを介して観察するよう奨励する。	公海交渉の結果、世界の公海生物多様性の監視と管理に責任を割り当てるという点で、公海(南西大西洋や東インド洋など)の空間ガバナンスや分類学の隔たりなど、既存の管理システムの欠点を説明する堅牢な国際条約が結ばれる。	GTAは、国家の管轄権を超えた現在の生物多様性と気候の課題に対処する公海条約を明確に提唱

社会的責任（背景が影付きのマスは国際マグロ同盟（GTA）が「主導」している、その他はGTAが「サポート」している取り組みを表しています。）

事業計画	狙い	国連 持続可能な開発目標 (SDGs) との関連	機能	効果	GTA重要業績評価指数
社会的責任のある水産物サプライチェーンの確保	GTA加盟組織が、人権を尊重する社会的に責任のあるマグロ類サプライチェーンを整備する。	SDGs 目標8 ターゲット7,8	透明性の向上 - GTA加盟組織は、人権に関する方針を公に共有している。改善を支援するという確約を加えた方針をサプライチェーンの利害関係者とも共有する。 改良 - 水産物倫理改善計画 (RISE) の構想を含むGTAの社会的責任のための手順は、以下の基準を含む - GTA加盟組織はサプライチェーンにおける人権リスクを加工業者および船舶レベルで評価する。 - GTA加盟組織は加工業者および船舶レベルでの採用による人権リスクを評価する。 - GTA加盟組織は、測定可能な進捗指標を含む、処理者レベルで人権リスクを優先し、対処する計画を策定する。 - GTA加盟組織は、測定可能な進捗指標を含む船舶の人権リスクを優先し、対処する計画を策定する。	GTA加盟組織は、包括的で堅実な工程を通して人権リスクを効果的に管理し、サプライチェーンに焦点を当てた積極的な行動をとり、それらについて公に報告する。	- サプライチェーンにおける人権リスクを加工業者および船舶レベルで評価している加盟組織の割合 - 加盟組織のうち、加工業者及び船舶レベルでの採用による人権リスクを評価したことがある組織の割合 - EPP (雇用にかかる費用はすべて雇用主が負担する) 規則にコミットしている加盟組織の割合 - 処理業者及び船舶レベルで人権リスクに対処するための実施開始期限付き計画に対して、測定可能な進展を実証できる加盟組織の割合 - 人権に関する企業方針を公に、またサプライチェーンの利害関係者と共有し、改善に向けてコミットしている加盟組織の割合。 - 人権リスク管理について公に報告している加盟組織の割合、修復活動も含む
国際労働機関 (ILO) 漁業労働条約 (第188号)	ILO第188号である 漁業労働条約 の批准と実施のための擁護活動を支援する	SDGs 目標8 ターゲット7,8	- GTA加盟組織は、サプライチェーンにILO漁業労働条約(第188号)に沿った基準の実施を要請する。 - GTA加盟組織は、調達国にILO漁業労働条約(第188号)の批准を検討するよう要請する。	ILO漁業労働条約(第188号)は、すべての漁師に対し、書面による雇用条件(漁師の労働協約)、適切な宿泊施設と食料、医療、労働時間の規制、本国送還、社会的保護、船上での健康と安全を義務付けている。募集と配置に関する最低限の基準を提供し、漁船で作業するための医療適性証明書 の取得義務を含む。	ILO漁業労働条約(第188号)批准数
ケープタウン協定	2012年の ケープタウン協定 (CTA)の批准と実施のための擁護活動を支援する	SDGs 目標8 ターゲット8	- GTA加盟組織は、サプライチェーンに対し、漁船が本契約の規定に基づいて発行された有効な国際漁船安全証明書、および本契約で要求される安全、航行および無線通信機器を有することを要求するなど、ケープタウン協定に沿った基準を実施するよう要請する。 - GTA加盟組織は、調達国に対し、既存船舶の安全規定が確実に満たされるようケープタウン協定の批准を検討するよう要請する。 - GTA加盟組織は、建造中の新造船がケープタウン協定の基準を満たすことを最低基準とすることを提唱する。	ケープタウン協定は漁船の基準を概説し、乗組員と漁業監視員の安全を保護し、産業に公平な競争条件を提供するように設計された他の規制を含んでおり、この協定は、合計3,600隻の適格漁船を有する22カ国が批准または加入すると発効する。この手順を踏むことで、漁船オペレーターは他の海上船舶と同じコンプライアンスを身に付け、乗組員を危険にさらさずに済む。	ケープタウン協定の批准数
漁業監視員の安全性	規制当局(旗国および沿岸国)およびそれぞれの漁業監視員プログラムが、地域漁業管理機関(RFMO)レベルで国際漁業監視員の権利章典(IBOR)を実施する。 IBORと並んで、規制当局(旗国と沿岸国)とそれぞれの漁業監視員プログラムが、すべてのマグロ類RFMOによる中西部太平洋マグロ類条約(WCPFC)の強制漁業監視員安全改革の採択を支持する。	SDGs 目標8 ターゲット8	- GTAは同盟国、規制当局、およびそれぞれの漁業監視員プログラムが協力し、RFMOレベルでIBORを実施することを提唱する。 - GTAは規制当局とそれぞれの漁業監視員プログラムが協力して、WCPFCの必須漁業監視員安全改革を他のRFMOで実施することを提唱する。 - GTA加盟組織は、漁業監視員の安全性を高めるために、マグロ類の調達要件を追加することに同意する。すべてのRFMOがIBORおよびWCPFCの強制漁業関心安全改革を実施する時点まで、GTA加盟組織は野心的な行動計画を採用する。(例えば、供給するX%を、IBORおよびWCPFC漁業監視員安全義務改革を実施したRFMOから調達する。202Y年までZ時間枠にわたってX%から100%に増加させる。)	漁業監視員が、耐航性がある船舶上で、安全な環境で、適切な機械で作業することができる。	- RFMOがIOBRおよびWCPFC必須漁業監視員安全改革を実施するため開始期限付きの確約をもつ加盟組織の割合 - IBORを実装しているマグロ類RFMOの数 - WCPFCの漁業監視員安全義務改革を採用しているマグロ類RFMOの数

付属文書1:外部の利害関係者とのコラボレーション

ワークエリア	コラボレーション
透明性の向上	
GDST(水産物トレーサビリティ世界基準)	GDST:有志のGTA加盟組織と協力して支援資源へのアクセスを可能にすることで支援
100%対象監視	NGOマグロフォーラム:共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。ソーシャルメディアリソースを提供
	国際水産物持続財団(ISSF):共通の目的、目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。
電子監視(EM)	NGOマグロフォーラム:共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。ソーシャルメディアリソースを提供
	Pew:共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。
	ISSF:共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。
違法漁業防止寄港国措置協定(PSMA)推進	Pew:共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。
	フレンド・オブ・オーシャン・アクション(FOA):共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。
漁獲の積み替え規則	NGOマグロフォーラム:共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。ソーシャルメディアリソースを提供
	ISSF:共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う
漁船および運送船の公開追跡	グローバル・フィッシュ・ウォッチ(GFW):GFWは衛星船位測定送信機(VMS)装置または船舶自動識別装置(AIS)データから得られた情報を使って、船舶の関連漁業規制への準拠を分析することが可能
許可された船舶リストの公開を支持	GFW:GFWはこの情報と公船の追跡を合わせて、誰が、どこで、どの権限で行っているのかを明らかにし、運用の透明性を直ちに高めることが可能。関係当局に特に準拠している船舶の特定ができ、その船舶は報酬として、魚の水揚げの際の入港を迅速に進められることが可能になる。非準拠の船舶は、情報がないために悪目立ちし、魚の水揚げの際に優先的に検査を求められる。
船舶の固有識別番号(UVI)/漁船の国際記録を支援	GFW:UVIは漁船の識別を支援
環境の持続可能性	
調達方法	世界水産物維持可能性イニシアチブ(GSSI):共通の目的、目標を掲げる。
漁獲戦略	NGOマグロフォーラム:共通の目的、目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。ソーシャルメディアリソースを提供
	ISSF:共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。
集魚装置(FAD)管理	NGOマグロフォーラム:共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。ソーシャルメディアリソースを提供
丸ごと、またはひれ付きの状態での水揚げ(FNA)政策と推奨	サメの保護活動:共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。
有害な補助金	FOA:目標を共有。活動に関わる支援、推進を行う。
国家管轄権外区域における海洋生物多様性(BBJN)	ストックホルム・レジリエンス・センター:目標を共有
	Pew:共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う
社会的責任	
社会的責任のある水産物サプライチェーンの確保	FishWise:ガイドラインは水産物倫理改善計画(RISE)基盤と完全に連携
国際労働機関(ILO)漁業労働条約(第188号)	FOA:目標を共有。活動に関わる支援、推進を行う。
ケープタウン協定	Pew:共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。
漁業監視員の安全性	NGOマグロフォーラム:共通の目標を掲げる。活動に関わる支援、推進を行う。ソーシャルメディアリソースを提供

付属文書2：取り組みの構図



この図は サプライチェーンとの行動や国への関与を通してGTA加盟組織が各事業をどの様に進めるのかを表しています。国への直接的関与は、書面や会合等の方法を通じて、国際法などの批准と履行を各国に奨励することで成り立っています。サプライチェーンとの活動は、各国による国際法などの批准と履行を、または船舶による支援を妨げる恐れのある障害を削減させること、から成り立っています。例えば船舶オペレーターがサプライチェーンの要件を認識していることを確認する、などの国内の状況や慣行の改善です。この図は、複数のアプローチが重なり合っていることを示しています。例えば、集魚装置 (FADs) 管理は主に地域漁業管理機関 (RFMO) を介して行われます。またこの図は、我々が目標を共有し、さらなる成長の可能性を秘めた協力体制を築いていることを示しています。これは排他的ではなく、新たな組織とのコラボレーションも期待し援助しています。最後に、背景が青色のマスは、私たちが「主導」している事業計画を、その他は我々が「サポート」している事業計画を表しています。



25PST

www.globaltunaalliance.com